

# 未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより  
7月15日 第7号  
文責 校長 山下



コロナ禍でスタートした1学期も残りわずかとなりました。現在、県内では感染拡大が続いており、市内でも連日新規感染者が出ています。状況ですが、本校の学校行事等は、感染対策を十分に行いながら予定どおり実施することができました。

6月27日から29日まで、3年生は半分・熊本方面を中心に修学旅行に行ってきました。初日の別府地獄巡りでの急な雨を除いては、すばらしい天気のもと、非日常的な貴重な体験をすることができました。

特に、最も楽しみにしていたグリーンランドでは、いろいろなアトラクションを体験しながら、子どもたち全員が楽しんでいる姿が見られました。この三日間の活動を通して、自分たちで主体的に考え、行動しようとする態度が随所に見られ、多くのことを学び、一人一人の成長を感じることができました。



## 1学期 行事等で成長!



<1年：給食と栄養>



<2年：スポーツと栄養>



<3年：租税教室>

7月4日には1年生で「給食と栄養」、13日には2年生で「スポーツと栄養」について、緑丘小学校の栄養教諭である松尾先生をお招きし、食育指導を行いました。成長期における中学生に必要な栄養等について、丁寧に指導していただきました。何と云っても三食きちんと食事を摂ることが大切だということがわかりました。また、7月5日には、市役所税務課から2名の講師をお招きし、3年生で「租税教室」を実施しました。税の仕組みや大切さなど、税の細かな部分まで学習しました。

### 学校支援会議から

コロナ禍のため、昨年度実施できなかった学校支援会議を6月に実施しました。この会議は2年連続で中止していたため、久しぶりに来校していただいた方がほとんどでした。会議では、学校経営方針の説明等を行い、学校や地域のことに関して貴重な意見を聞くことができました。主な意見は次のとおりです。

- ・通学路の危険箇所について、主な原因は運転者の義務違反によるものが多い。
- ・通学路の除草作業に関しても、県や市の予算は、年に1回分しかない。
- ・横断歩道や白線等は、予算の問題や公安委員会の規制があり、交通量や利用者数に関わってくださることも難しい。
- ・現状としては、児童生徒に車がいるということを確認して指導することが優先。自分の身は自分で守ることを願っていた。
- ・助手席の児童生徒がシートベルトをしていないことがある。
- ・自転車通学生のルールがよくないことがある（特に、一時停止）。
- ・車で通学の乗降は農具倉庫で徹底しているが、農具倉庫の出入口付近が危ないので、出入りを一方通行にできないか。
- ・車による送迎がとて多いいのが気になる。挨拶はよくしてくれ。どこに行っても恥ずかしくない。

農具倉庫駐車場での車の乗降については、小学校とも相談しました。一方通行にするのは難しいので、農具倉庫の出入口付近ではなく、できるだけ奥の方で乗降をさせていただければと思います。御協力よろしくお願ひします。貴重な御意見ありがとうございました。



- 16日：社明弁論大会
- 17日：家庭の日
- 19日：県中総体激励式
- 20日：終業式
- 23日～25日：県中総体大会
- 27日～：家庭訪問・三者面談

### 【県中総体の思い出】

バレーボール部の指導をしていた時、最もうるさく言っていたことが食事である。スポーツ栄養学を勉強し、エネルギーを蓄えるため炭水化物を多く摂ることが重要であることを知った。部員には、朝から必ず米を多く食べることを要求した。

翁頭中男子を率いて県中総体に出場した時、大村の旅館に宿泊した。事前に、「おかすは少なくともいいので、御飯を多くしてください。」と依頼していた。「大丈夫です。」という返事だった。ところが、初日の夕食、一人2杯は当たり前、平均3杯ちょっと食べるので、とうとう夕食の御飯がなくなってしまう。旅館の方からお詫びを言われて、返って申し訳なかったが、翌日から御飯の量が2倍になった。生徒は、日頃からエネルギーを蓄えていたおかげで、県中総体では十分に持っている力を発揮できた。